

(様式2)

## 令和5年度 施策評価シート

### 1 施策の位置づけ

基本戦略	1. 魅力にあふれ暮らしたくなる村をつくります
重点目標	2. 誰もが暮らしたくなる環境づくり
主要施策	2-1. 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します

### 2 施策の評価

※別紙成果指標あり（社会動態）

指標（KPI）	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
転入者数	人	129	137	93	107	128		125	企画財政課
空き家バンクを通じて成約した空き家数	件	19	21	22	23	24		25	

### 3 主な取組

1 移住・定住施策の推進							総合評価	
朝日村に魅力を感じ、移住・定住を希望する人の増加を目的とする、移住・定住促進のための情報発信、イベント等の実施							A	
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化		
258 村の魅力創出事業委託料	企画財政課	7	休止・廃止	皆減	A			
2 住宅の確保・活用							総合評価	
子育て世代や若者等の移住・定住を促進するための、住環境の整備							A	
事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化		
16 朝日村空き家活用事業補助金	企画財政課	5	維持	維持	A			
17 子育て世代住宅取得補助金	企画財政課	5	維持	維持	A			
292 空き家調査委託料	建設環境課	7	休止・廃止	皆減	A			

#### 4-1 施策の評価・検証（企画財政課）

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	若い世代の住環境整備のため住宅取得補助をより活用しやすくする。また地方移住に対応するためには、合わせて就業環境整備が重要であり、民間のテレワーク施設や村有の宿泊施設と連携した取組が必要である。
事業の重点化	子育て将来世代住宅取得補助の制限緩和により、更に活用しやすくする。民間所有のテレワーク施設と村有の宿泊施設の活用により、お試し移住の取組を行い、移住への足がかりとする。また空き家の賃貸に対する補助だけでなく購入に対する支援（周知等）も検討する。

#### 4-2 施策の評価・検証（産業振興課）

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	移住定住促進のため関係機関等と連携し情報発信や体験イベントを推進する。
事業の重点化	地域おこし協力隊の起業・定着支援

#### 4-3 施策の評価・検証 (建設環境課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	令和3年度に実施した空き家実態調査の結果を元に今年度空家等対策計画を策定し、空き家対策を推進する。また、空家の利活用について、企画財政課と情報を共有し、移住・定住を推進する。
事業の重点化	空家等対策として、「発生予防」、「適正な管理」、「利活用の促進」などといった取り組みを効率的に進める。 村営住宅の改修を長寿命化計画に沿って進める。